

環境審議会意見に対する市の考え方（ペット霊園規制関係）
検討事項

意見	市の考え方
<p>「埋葬の禁止」とあるが、「土葬の禁止」の方が表現として適当ではないか。</p>	<p>表記を「埋葬の禁止」から「土葬の禁止」に改めます。</p>
<p>移動火葬車について、他の自治体を見ていると、自らの所有地となっており、個人宅の駐車場で火葬するケースは少なく、持ち帰って事業者の土地で焼くのが一般的だと思われるが、個人宅のケースについては「土地の所有者の同意を事前に得る」ことでカバーできており、それで十分だと思うが、その次の周知については、書いておく必要があるのか。すごく曖昧な規定で、どこまで周知すれば良いのか、反対されたらどうなるのか。周辺への周知については常識として行われるもので、あえて書き入れておく必要があるのか。</p>	<p>「付近の住民に対し、火葬を行うことを事前に周知すること」を削除し、周辺へ配慮した適正な火葬が行われるよう、「周辺環境に影響を及ぼさないよう十分な対策を講じること」を追加します。</p>
<p>・移動火葬車であっても800℃まであがると廃熱はあると思うが、火葬場所の広さについてもある程度必要ではないか。お寺のように広いところであればあまり影響はないと思うが住宅が密集しているような駐車場では廃熱は無視できないと思う。ペット霊園に設置される施設については100メートルの基準があるが、自動車では密集した場所でできるとなっている。どう書くのがいいのかは分からないが、周辺住民の理解を得る必要がない程度の広さを確保できる場所ではないと使えないとするほうが現実的ではないか。</p> <p>・私は利用したことがある。私の場合は、周辺に人家のないところで焼いてから持ってきた。公道とか公園の横を利用するのではないかと思う。事前周知をすることといった規定を見ると事業者は別のところに持っていく気がする。</p> <p>検討をお願いします。</p>	<p>移動火葬車による火葬は、ペット霊園に設置される火葬施設に比べ同じ場所で火葬されるケースは少なく、周辺への影響が一時的であると考えます。</p> <p>しかしながら、移動火葬車による臭気や廃熱などの周辺への影響が考えられることから、火葬が可能な場所を「土地所有者が火葬を行うことに同意している土地」とし、周辺への配慮として、ペット霊園の火葬施設と同様の「構造基準」や、「移動火葬業者が火葬終了までその場で待機し、火葬を行うための設備を適正に管理すること」に加え、「周辺環境に影響を及ぼさないよう十分な対策を講じること」を規定します。</p>

環境審議会意見に対する市の考え方（ペット霊園規制関係）
その他ご意見

意見	市の考え方
移動火葬車とはどういうものか。	依頼者からの連絡を受けて、依頼者宅に訪問し、依頼者の希望するところで焼却します。 ワンボックスカーの後ろに火葬炉と粉じん等処理する施設を搭載した車を用いて1～2時間程度、車を停めた状態で焼却されます。
廃園した施設は、何年継続していたのか、敷地面積はどれぐらいなのか。	規制する法令がなかったことから、市として報道を受けるまで把握していませんでした。報道を受けて現地に確認にはいきましたが、詳細については把握していません。
今まで、ペット霊園にまつわる苦情等はあったのか。	本市では平成 26 年度に煙に関する苦情が1件ありましたが、それ以外はありませんでした。
人の霊園では、何年、何十年と利用者の権利があるが、ペット霊園でも同様にあるということか。	人の墓地のように永代供養ではなく、一度個別の墓地で弔われて、一定期間経過すると、集合で納骨されて奉られる形態となっています。
今回のトラブルがどういった原因なのか。一定期間弔うはずの約束が、勝手に廃園されて掘り起こされたということは契約違反の問題なのか。	土地の所有者とペット霊園事業者との貸借条件が異なっている状態で経営を行っており、周辺からの苦情をきっかけに、土地の所有者から事業者に対して現状復帰が求められて今回の問題につながったものです。
条例の中身を検討するにあたっては問題点をしっかりと把握しておかないと抽象的な条例となり、運用時に機能しにくいおそれがあるが、条例の議論をするにあたって本市の状況はどの程度調査されているのか。利用者数や契約の状況といった調査のデータをお示しいただけるのか。	どういう状況で運営されているかは現地にて確認していますが、利用者数等は把握できていません。
今、お示ししていただいている3つの霊園以外にもあるかもしれないので調査は必要ではないか。 また、現状の3施設について条例をどう適応させるのか。	既存の施設については、届出を受けて、みなし許可として扱いますが、施設の拡大時には基準を適用し、許可にあたっては基準を遵守するよう指導を考えています。
墳墓は、ペットの焼骨を埋蔵する施設とあるが、埋葬の禁止の規定で書かれているペットの死体には焼骨も含まれるのか。	埋葬の禁止として記載しているのは、死体そのものを土の中に入れることによって腐敗臭などの問題があるのでそれを禁止するとしており、焼骨なら可能です。
土の中に焼骨を混在させた状態で入れてしまっても許可されるということか。 その場合、廃止のときに、焼骨を移すのは難しくなるのではないか。	焼いた状態であれば問題ないと考えています。 埋蔵にもいろんな形態があり、今委員がおっしゃられたような状態であれば、掘り起こすといったときに遺骨を移すことが難しくなっているかもしれませんが、形態に応じて利用者が納得するような対応を求めます。
住宅から100メートル離すこととあるが、現在市内にある2つが100メートル以内であるが、問題ないのか。 京都のように規定するのがよいのではないか。あるいは最後の例外のところで対応できているのか。	周辺から苦情等の問題が発生していないことも踏まえて、現状の施設については、届出を受けてみなし許可として扱いますが、今後、増設等規模の拡大の場合には、許可が難しいと考えています。

意見	市の考え方
ペット霊園Cについて、現在問題なく運用されているとのことだが、100メートルの基準を適用することで事業者の不利益とならないのか。	イメージ図の2段目の右側のような施設を設置しているお寺になっています。 資料の1-3の3ページ(5)④の規定で、墓地埋葬等に関する法律第10条の規定により許可を受けて設置された墓地の区域内にペットの墳墓を設置される場合は適用しないとの条項を設けます。
周辺への配慮で、付近の住民に事前に周知するとあるが、周知した結果反対されたらどうするのか。	火葬する場所については、同意を得ることとしていますが、火葬が短時間であることもあり、周辺へは同意をもとめるのではなく、ご理解を求めるための周知と考えています。
かえってトラブルにならないか。参考資料1-1のほかの自治体と比較すると、他の自治体は場所についても規制しているが、そういったことは検討されないのか。	同意を得ることの趣旨は、道路上や公共施設でも火葬されるケースがあると高槻市からも聞いているが、そういったケースを禁止するために、焼却する場所の同意を得ることと規制している。
近隣に周知をした際に、やめて欲しいと言われた場合はどうするのか。	そういった場合に市への相談等があった場合については、火葬業者の所有地等の適正な場所での火葬を指導することは可能であると考えています。
実際の移動火葬車のトラブル事例はあったのか。イメージができない。	移動火葬車の苦情については今のところありません。既存の市内のペット霊園のCについては、お寺の敷地内で移動火葬車による火葬を行っているとは聞いていますが、苦情はありません。 また、霊園Cからは排気口から黒い煙や臭いも見ただことはないと聞いています。
移動火葬車は年間どれぐらいか。	年間の稼働状況は把握できていません。高槻市は届出で12台ぐらい使われていると聞いています。 実際に同じ場所であるということ言うと、ペットが何頭も同じところで死ぬとは考えにくいので何年かに1回程度になると考えています。
廃止の手続きのところで、箕面市だけが許可となっているのはなぜか。	人の墓地に準じて許可制をとられていると聞いています。
許可制(箕面市)ということは、墓地をやめた後どうするかという内容を提出させて許可するということか。	そのように考えています。我々も届出ではあるが適性に廃止、原状回復までされるのかを確認します。
廃止の手続きで、利用者の対応が述べられているが、周辺への対応は含めなくていいのか。	周辺の生活環境の保全のため、原状回復を義務として課しています。
廃止の手続きについて、改善命令を設けると思うが、資料からは分かりづらいので工夫をお願いしたい。	参考資料1-2の5ページの23、改善勧告及び改善命令の規定の中に示すように、規定としては考えていますので、今後、資料の中でも分かるように対応していきます。
※一般的に火葬炉には耐用年数のようなものはあるのか。	メンテナンス等により長期使用も可能なため、耐用年数は特にありません。

※第2回枚方市環境審議会欠席委員から後日いただいたご意見です。

環境審議会意見に対する市の考え方（ペット霊園規制関係）
後日意見

意見	市の考え方
<p>周辺の方への周知が、曖昧のように感じなくはない。広い庭ならともかく、今後のトラブルにならないのかなどの懸念がある。</p>	<p>「付近の住民に対し、火葬を行うことを事前に周知すること」を削除し、周辺へ配慮した適正な火葬が行われるよう、「周辺環境に影響を及ぼさないよう十分な対策を講じること」を追加します。</p>
<p>移動火葬車について、自宅の前（および、庭）で火葬をするのを前提としており、自宅の庭であれば、周辺の方への周知を得てと思うが、自宅前の道路で火葬されるということは、想定しているか。</p> <p>私道ならともかく、ほとんどは、公道になり、違反となるものもあるのではないか。</p>	<p>火葬が可能な場所を「土地所有者の同意」を条件にしていることから、「自宅での火葬」とは、依頼者の所有する庭やガレージ等で行われることを想定しています。</p>
<p>移動火葬車も、周辺の方に断られた時を想定して、どこで火葬することを想定しているのか、移動火葬車が申請を出される時に、市が書類のチェックを行って欲しい。</p>	<p>適正に火葬が行われるよう、届出時に火葬場所の制限や周辺への配慮の規定に基づいて、指導を行います。</p>
<p>ペットの火葬についてのトラブルで、過剰請求といったことが心配されるため、規制が必要ではないか。</p>	<p>料金やサービスに関するトラブルについては、ペット霊園設置者及び移動火葬業者の遵守事項として、サービスや契約内容等について事前に説明を行うことを義務付けることで、当該トラブルへの対策としています。</p>